

日本共産党
滋賀県議

杉本としたか県政レポート No.41

高校生一人一台
タブレット端末

教育予算増やし県が負担せよ!

重い入学時の負担
新型コロナウイルスの感染拡大の中で、減収や失業などにより経済状況が厳しい家庭が増えていることや消費税増税等により貧困と格差が広がっています。高校入学時の教材費や制服などの保護者負担がますます重くなっています。請願は、1人1台のタブレット端末の自費購入方針を撤回し、県費負担による実施を求めています。

県教委に道理なし

県教委は「タブレット端末は常に自分の周りに置き、さまざまな場面で活用されることが望ましく、生徒一人ひとり個人の所有物として責任を持って管理することが大切である」とし、「タブレット



10月8日、請願に賛成討論する杉本県議

ト端末の機能は年々進歩するものであり、生徒自身が取り組む学習内容や将来の活用などを見据えて、生徒個人の利用に応じた機種を選択することができるとしています。しかし、このようなメリットを強調すればするほど、経済的事情で自分の端末を持ってない生徒はどうなるのか！経済的格差による教育の機会均等を損なうことになりま

また県教委は、「高等学校等における教材については、原則自己負担」ということを強調していますが、16府県が1人1台端末の整備を公費負担で行っています。文科省は、「平成22年度から公立高等学校の授業料無償化及び就学支援金制

度が創設されたが、この制度は、高等学校への進学者が98%に達し、国民的な教育機関として位置付けられていることにかんがみ、その教育に係る費用について、社会全体で負担することにより、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある生徒の後期中等教育段階の学びを支援することを目的として実施されている」としています。滋賀県が今日、「高校の教材費は原則自己負担」などとしているのは時代錯誤です。

貧困な高校教育予算

自民・公明は討論もなく

米価対策も持続化給付金にも反対

米価暴落対策の意見書

新型コロナウイルスの影響で食産業における米の需要が減少したことなどにより、米価が大暴落。このままでは多くの農家が米作りから撤退することになりかねない。政府が過剰米の買入をはじめ、米価の下落に対する緊急対策を講じるよう強く求める。

持続化給付金の意見書

新型コロナウイルス感染拡大による営業自粛により、中小事業者等は大変深刻な影響を受けており、特に小規模事業者の

等学校等における1人1台のタブレット端末整備を県費負担で行わない真の理由は、教育予算の貧困にあります。滋賀県は全日制高等学校の生徒1人当たり教育費の都道府県別ランキングは40位以下で、島根県や東京都の3分の2しかありません。杉本県議は「教育予算を拡充し、本請願が求めるとおり、自費購入方針を撤回し、県費負担による整備を行うべきである」と強く主張しました。

この請願に賛成したのは日本共産党県議団だけでした。

長浜市選出県議は議場でどのような態度をとっているか \ (◎o◎) / ○賛成 × 反対

9月定例会に県民から出された請願/意見書	杉本敏隆	大橋通伸	川島隆二	柴田清行
米価下落に対する緊急対策を求める意見書	○	○	×	×
中小事業者等の営業と雇用を守るため、持続化給付金および家賃支援給付金の再支給を求める意見書	○	○	×	×
1人1台のタブレット端末の自費購入方針を撤回し、県費負担による実施を求める請願	○	×	×	×
精神障害者保健福祉手帳2級保持者に対する自動車税減免を求める請願	○	○	○	○

二度と冤罪を起こさない真摯な反省と対応を

許されない！無罪確定の西山さんを犯人視

滋賀県の湖東記念病院で2003年に死亡した男性患者への殺人罪で12年間の服役後に再審無罪となった西山美香さんが、国と滋賀県に国家賠償を求めた訴訟で、滋賀県が、「被害者を心肺停止状態に陥らせたのは、原告（西山さん）である」と無罪判決を否定する書面を裁判所に提出したことは、前代未聞であり、西山さんの尊厳と人権を再び踏みにじるもので断じて許されません。

共産党松本議員の質問で謝罪したが…

9月28日、日本共産党の松本利寛県議の一般質問に対して、滝沢警察本部長は、「西山さんをはじめ、関係者の心情を害したことについてお詫び申し上げます」と謝罪しました。しかし、「表現に不十分な点があった」と発言し、確定判決を否定した誤りを認めるものではありませんでした。公権力である行政が確定判決の根幹を否定することは、法に基づいて運営される法治国家の原則を踏みにじるものです。このことへの反省が求められています。

ところが、10月5日に警察本部が裁判所に提出した訂正申立書においても、なお「被害者を心肺停止状態に陥らせたのは、原告であると判断する相当な理由があった」などとしています。

再審無罪判決を真摯に受け止めよ

西山さんの弁護団長井戸謙一弁護士は「今回の件で明ら

かになったのは、滋賀県は今でも美香さんを犯人であると認識しているということでした」とし、「問題はその『認識』です」と指摘されています。この認識を改め、しっかりとした反省がなければ、冤罪を防ぐことはできません。西山さんに再審無罪判決を下した裁判長は「取り調べや証拠開示などが一つでも適切に行われていれば、逮捕・起訴はなかった」と説諭されています。

日本共産党県議団は10月8日、「再審無罪の判決および説諭を口先だけでなく、真摯に受け止め、二度と冤罪を起こさない真摯な反省と対応を強く求める」との申入れを知事と警察本部長に行いました。



寄せられたご意見について

国道 365 黒田地先の土のう

「国道 365 号線の黒田地先で、3年前の山の土砂崩落の修復工事に使われた土嚢がチェーン着脱場に放置されたままになっている」との声が寄せられました。木之本土木事務所を確認したところ、今年度中に撤去する予定だということです。



通行止めの野村橋

「通行止めになっている野村橋（東上坂町）は通れるようにならないのか」とのお問い合わせがありました。長浜土木事務所に確認したところ、県が改修して市に移管する方向で検討中で、今年度から来年度にかけて設計に入る予定だということです。

